

プログラム

会場 : 仏教伝道協会ビル
8階「和の間」: 特別講演、一般/事例研究発表、メーカープレゼンテーション

令和4年8月25日(木)

9時50分 開会挨拶 (一社) 日本繊維状物質研究協会 理事長 神山 宣彦

10時00分 ~ 11時00分

【基調講演1】 司会: 田吹 光司郎 ((一財) 西日本産業衛生会)

『疫学とは何か ~産業保健従事者に必要な疫学の基礎知識~』

防衛医科大学校 医学教育部 医学科 衛生学 公衆衛生学講座 教授 角田 正史

11時00分 ~ 12時30分

【特別講演1】 司会: 小西 淑人 ((株) エフアンドエーテクノロジー研究所)

『労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令等の概要(新たな化学物質管理について)
/ 建設アスベスト訴訟最高裁判決を踏まえた一人親方等の保護に関する法令改正について』

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課 環境改善室
副主任中央労働衛生専門官 井上 栄貴

12時30分 ~ 13時30分 昼食休憩

13時30分 ~ 14時10分

【メーカープレゼンテーション】 司会: 佐川智幸 (アゼアス(株))

① 『定性的フィットテストキット FIT-IIのご紹介』

興研(株)

② 『小型差圧計“Chicco-iino”シリーズ FPL-1型、労研式マスクフィッティング
テスター MT-05U型、ファイバーモニター F-1K型、デジタル粉じん計 LD-5R型』

柴田科学(株)

14時20分～16時50分 *途中で休憩を取ります

【 シンポジウム1 】

『 事前調査について考える～事前調査に関わる者それぞれの問題点を考える 』

司会： (株)ニチアスセムクリート 望月 文人
九電産業(株) 尾川 俊也

シンポジスト1：『 事前調査を依頼するうえでの問題点・問題になった事例等
- 事前調査の難しさ - 』

(株)竹中工務店 東京本店 安全環境部 環境グループ長 小松 保

シンポジスト2：『 調査する者から見る事前調査の問題点 』

(一社)日本アスベスト調査診断協会 副理事長 椿本 明仁

シンポジスト3：『 事前調査の難しさとこれから調査する上での不安等 』

九電産業(株) 環境部 環境グループ 主任 魚住 潤一

シンポジスト4：『 分析する試料の問題点と試料採取者への要望 』

(株)日新環境調査センター 環境調査部 第2グループ 係長 枝 彩花

総括・質疑(ディスカッション)

16時50分 1日目 終了

プログラム

会場 : 仏教伝道協会ビル
8階「和の間」: 特別講演、一般/事例研究発表、メーカープレゼンテーション

令和4年8月26日(金)

10時00分～11時00分

【特別講演2】 司会: 富田 雅行((一社)日本繊維状物質研究協会)

『 繊維状物質の生体影響 』

産業医科大学 産業生態学研究所 呼吸病態学 教授 森本 泰夫

11時00分～11時10分 休憩

11時10分～12時30分

【一般研究発表】 座長: 神山 宣彦((独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)

①『 石綿代替繊維セピオライトとクリソタイトのX線回折分析法および位相差分散顕微鏡法による判別について 』

○河野智美、河野光雄、岡光一、田吹光司郎

((一財)西日本産業衛生会 環境測定センター 大分事業部)

②『 前処理残存物質が多い低濃度石綿含有建材に係るX線回折法の検討 』

○松井 円、竹内香代、中元章博 (日本環境分析センター(株))

③『 蛍光顕微鏡法によるタルク中のアスベスト検出について 』

○黒田章夫、西村智基、石田丈典 (広島大学 大学院統合生命科学研究科)

④『 光電子相関顕微鏡法(CLEM)による繊維状物質の計数值・観察の特徴 』

○本多将俊¹⁾、野中崇雄²⁾、高島良子³⁾、飯田裕貴子⁴⁾、中村憲司⁵⁾、奥村謙介⁴⁾、
結城健一⁴⁾、相場周勢⁴⁾、大牟田直樹⁴⁾、吉澤慧²⁾

(¹⁾ 環境省環境調査研修所、²⁾ (株)ニコン、³⁾ 日本電子(株)、

⁴⁾ (株)環境管理センター、⁵⁾ (独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)

12時30分～13時30分 昼食休憩

13時30分～14時15分

【メーカープレゼンテーション】

司会：中元章博（日本環境分析センター（株））

③ 『 電動ファン付き呼吸用保護具（PAPR） 』

（株）重松製作所

④ 『 携帯型蛍光顕微鏡法による大気アスベスト検査

～環境省アスベストモニタリングマニュアルでの位置づけ～ 』

（有）シリコンバイオ

⑤ 『 マスクフィットテスターのご提案 』

日本カノマックス（株）

14時05分～14時40分 展示見学及び休憩

14時40分～16時50分 *途中で休憩を取ります

【 シンポジウム2 】

『 マスクフィットテストについて考える 』

司会：中央労働災害防止協会 近畿安全衛生サービスセンター 今川 輝男

秋田環境測定センター（株） 森 洋

【基調講演2】

『 金属アーク溶接等作業者の呼吸器保護とフィットテストの重要性

－「厚生労働省告示第286号第3条」と「改正JIS T 8150:2021 附属書JD」を中心に－ 』

独立行政法人労働者健康安全機構労働 安全衛生総合研究所・統括研究員 吉川 徹

シンポジスト1：『 溶接業界の対応状況 』

（一社）日本溶接協会 安全衛生環境委員会 委員長

国立大学法人 埼玉大学 大学院理工学研究科 教授

山根 敏

シンポジスト2：『 外部機関としてマスクのフィットテストの準備状況と問題点 』

秋田環境測定センター（株） 代表取締役 森 洋

シンポジスト3：『 マスクメーカーの対応 』

（株）重松製作所 営業本部 マーケティング部 企画部長 渡邊 雅之

『 フィットテストの具体的な実施方法 』

(1) 定性的フィットテストについて

シンポジスト4: 興研(株) マーケティング本部 安全衛生ディビジョン
技術開発セクション リーダー 大山 欣伸

(2) 定量的フィットテスト

シンポジスト5: 柴田科学(株) 国内営業部マーケティング課 課長 小島 謙太郎

シンポジスト6: 日本カノマックス(株) 研究開発部 製品開発ディビジョン 渡邊 純一

総括・質疑(ディスカッション)

16時50分 閉会挨拶 (一社)日本繊維状物質研究協会 副理事長 富田 雅行